

大阪市立自然史博物館

2008年(平成20年)5月・6月の催しのご案内

■ **特別展「ようこそ恐竜ラボへ！」—化石の謎をときあかす—**を開催
 期間:3月15日(土)～6月29日(日) 会場:自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階) 主催:大阪市立自然史博物館、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿、読売新聞大阪本社
 後援:大阪府、大阪府教育委員会 入場料:大人1100円、高校生・大学生 600円、中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明書)。

■ **臨時開館のお知らせ** 4月28日(月)、5月5日(月)は臨時開館いたします。※5月7日(水)は休館いたします。

★印の行事は事前申込みが必要な行事です。申込方法は4ページに記載しています。

なお、申込み期日の過ぎた行事は割愛させていただきました。



5

日	曜	催し名	時刻・場所	内容・対象・定員・費用・問合せなど(\\は費用)
3	土	自然史オープンセミナー・展示室で学ぶ生き物のくらしシリーズ1「生き物の関わりあいとすみ場所の結びつき」	PM3:00～4:30 自然史博物館集会室	今年のオープンセミナーでは春と冬の全4回で新展示室「生き物のくらし」に込められたテーマを紹介していきたいと思います。第1回目はナラやマツなどの里山の大きな樹木を中心にして、里山生態系の仕組みをお話します。対象どなたでも \\無料(ただし博物館入館料が必要) 講師佐久間大輔(植物研究室)
7	水	休館日		
10	土	特別行事 第25回地球科学講演会「石油天然ガス資源をめぐる私たちの将来」	PM2:30～4:30 自然史博物館講堂	私たちの暮らしに欠かすことのできない石油や天然ガスは、地質時代の生物遺骸が地下深部の地層中で姿を変えたものです。石油天然ガス資源の成立と利用の実態を概観し、今私たちのおかれている立場について科学的に考えてみましょう。なおこの講演会は「地質の日」協賛行事として、石油技術協会の後援をいただいております。講師荒戸裕之氏(帝国石油(株)国内本部開発部長、石油地質学・シーケンス層序学) \\無料(ただし博物館入館料が必要) 共催地学団体研究会大阪支部、日本地質学会近畿支部、日本堆積学会(予定) 問合せ地史研究室の塚腰まで
11	日	LSJアサギマダラプロジェクト公開シンポジウム	PM3:30～5:00 自然史博物館集会室	日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト主催の公開シンポジウムを開催します。大阪府立大学の石井実教授に、移動性のチョウであるイチモンジセサリの生活史と移動について、わかりやすく解説をしていただきます。当日、同じ会場で13:00～15:30まで、日本鱗翅学会近畿支部と渡りチョウを調べる会の合同例会が行われます。関心のある方は、こちらへもご参加ください。対象どなたでも \\無料(ただし博物館入館料が必要) 共催日本鱗翅学会近畿支部・日本昆虫学会近畿支部・大阪市立自然史博物館 プログラム 1.特別講演イチモンジセサリの生活史と移動(石井 実) 2.2007年のアサギマダラの調査成果報告(金沢 至) 3.総合討論 問合せ昆虫研究室の金沢まで
12	月	休館日		
17	土	長居植物園案内・動物昆虫編「晩春の虫たち」	AM10:00～12:00 雨天中止 集合自然史博物館玄関前ポーチ	若葉が出そろって、虫たちの活動が活発になる季節です。長居植物園を一周しながら、チョウ・ガやトンボなどを観察しましょう。対象どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) \\無料(ただし植物園入園料が必要) 持ち物・服装筆記用具。ある人はルーペ、カメラなどの観察用具。帽子、長ズボン。虫除けを忘れずに。その他当日天候があやしいときは、午前8～9時に06-6694-0500(留守番電話)で確認してください。問合せ昆虫研究室の金沢まで
		恐竜ラボ・子どもワークショップ「きょうりゅうはりえ～デイノニクス編～」	AM11:00～、PM1:30～、2:30～、3:30～(1回50分) 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	肉食恐竜デイノニクス。いったいどんなすがたをしていたの?恐竜カードに好きな色の紙をはりつけて、キミだけのデイノニクスを作ってみよう。対象小学生以上 定員1回10名 \\100円(材料費;なお、高校生以上の方がつきそいで参加の場合は、特別展への入場料が必要です(大人1100円、高大生600円))
18	日	恐竜ラボ・子どもワークショップ「きょうりゅうはりえ～デイノニクス編～」	同上	同上
		恐竜ラボトーク3「恐竜研究ってこんなにおもしろい! - 丹波の恐竜化石発掘最新報告」 ★要申込 5月8日(木)締切	PM1:30～3:00 自然史博物館講堂	第3回恐竜ラボトークでは、現在も発掘が行われている「丹波竜」について、その発見の経緯や発掘調査の進捗状況、今後の展望などについてお話していただきます。講師三枝春生氏(兵庫県立人と自然の博物館) 対象どなたでも 定員250名(先着順) \\無料(ただし、特別展観覧券の半券と参加票(はがき)が必要) 問合せ地史研究室の塚腰まで

18	日	こ そ 恐 竜 ラ ボ ヘ ー !	やさしい自然かんさつ会 「海へのしぜん」 ★要申込 5月3日(土)締切	終日 岬町長崎海岸 雨天中止	潮がよく引いた春の磯で、いろいろな海の動物、海藻などを観察しましょう。対象小学生以上(小学生には保護者の同伴が必要) ¥中学生以上300円、小学生200円(自然史博物館友の会会員はそれぞれ100円引) 定員250名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ動物研究室の波戸岡まで
			国際博物館の日記念シンポジウム「都市の魅力発信と博物館連携—大阪市の博物館を語る—」	AM10:30~PM4:00 大阪歴史博物館4階講堂(最寄り駅地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車9号出口前) ★自然史博物館での行事ではありません。御注意下さい	大阪市には、さまざまなジャンルの博物館・美術館があり、それぞれの特徴を生かした活動を行っています。また、館同士の連携活動を通して博物館群の新たな魅力を発信しようとしています。このシンポジウムでは、大阪市の「博物館群」の生い立ちと現在の取り組みを紹介するとともに、大都市における博物館群の魅力発信と相互連携のあり方についての議論します。対象どなたでも ¥無料 主催大阪市、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪市立美術館、大阪城天守閣、大阪歴史博物館、大阪市立近代美術館準備室、大阪市立自然史博物館、大阪市博物館施設研究会日本鱗翅学会近畿支部・日本昆虫学会近畿支部・大阪市立自然史博物館 後援財団法人日本博物館協会 問合せ大阪市総合コールセンター(06-4301-7285)
19	月		休館日		
24	土	5 / 6 / 2 9	長居植物園案内	PM2:30~4:00 集合自然史博物館玄関前ポーチ	植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察の手引きをします。対象どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) \無料(ただし植物園入園料が必要)
			教員・観察会指導者向け支援プログラム「火山灰野外編1、室内編1」 ★要申込 5月10日(土)締切	終日 泉北・泉南方面 雨天中止 ※「室内編1」は7月6日(日)に実施します	理科の地学分野で、しばしば取り上げられる教材「火山灰」。「野外編1」で野外での火山灰層の観察と実習材料の採取を、「室内編1」で室内で火山灰から鉱物粒子の洗い出しや顕微鏡観察、鉱物粒子の同定を行います。対象小・中学校、高校、養護学校の先生、教員を目指している大学生、自然観察会指導者(「野外編」「室内編」両方の参加をお願いします。ただし、これまでに本プログラムに参加し、顕微鏡観察のステップアップを希望される方は「室内編1」のみの参加でも結構です)。定員24名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ第四紀研究室の石井陽子まで
			恐竜ラボ・子どもワークショップ「きょうりゅうはりえ〜デイノニクス編〜」	AM11:00~, PM1:30~, PM2:30~, PM3:30~(1回約50分) 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	肉食恐竜デイノニクス。いったいどんなすがたをしていたの?恐竜カードに好きな色の紙をはりつけて、キミだけのデイノニクスを作ってみよう。対象小学生以上 定員1回10名 \100円(材料費;なお、高校生以上の方がつきそいで参加の場合は、特別展への入場料が必要です(大人1100円、高大生600円))
25	日		恐竜ラボ・子どもワークショップ「きょうりゅうはりえ〜デイノニクス編〜」	同上	同上
			地域自然誌シリーズ・淀川を歩こう1「三川合流〜枚方大橋左岸」 ★要申込 5月12日(月)締切	終日 三川合流(京都府八幡市)から枚方大橋(枚方市)まで 雨天中止	博物館では昨年「プロジェクトY」と称して、市民のみなさんと一緒に淀川の自然を調べています。その一環として、今年度は淀川の始点から河口までの全区間を6回に分けて徒歩で往復し、川沿いの様々な自然の観察会を行います。第1回目は三川合流点から枚方大橋までの左岸(南岸)を歩きます。その他全行程でおよそ12キロを歩きます。対象小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) ¥中学生以上100円、小学生50円(自然史博物館友の会会員は無料) 定員30名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ動物研究室の石田まで
26	月		休館日		
28	水		教員・観察会指導者向け支援プログラム「街で繁殖する鳥」 ★要申込 5月17日(土)締切	PM2:00-4:00頃 長居植物園	大阪での市街地でも、シジュウカラやメジロなど10種以上の鳥が繁殖しています。どんな鳥がどんな風に繁殖しているのか観察します。対象小・中学校、高校、養護学校の教員、教員を目指す大学生、観察会指導者 定員30名(超えた場合は抽選) ¥無料(ただし植物園入園料が必要) 問合せ動物研究室の和田まで
31	土		恐竜ラボ・トーク4「恐竜研究ってこんなにおもしろい! - 恐竜の生きた姿を復元する」 ★要申込 5月20日(火)締切	PM1:30~3:00 自然史博物館講堂	第4回恐竜ラボ・トークでは、そんな化石として残された恐竜たちを、どうやって現代によみがえらせるのか?その手法のひとつである「復元画」についてお話しいたきます。講師小田 隆氏(恐竜画家) 対象どなたでも 定員250名(先着順) ¥無料(ただし、特別展観覧券の半券と参加票(はがき)が必要) 問合せ地史研究室の塚腰まで
31	土		恐竜ラボ・プレバレーターにきいちゃおう	AM10:00~12:00, PM1:00~2:00, 3:00~4:00 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	林原自然科学博物館のプレバレーターが特別展会場内に登場して、プレバレーターの仕事のようすや道具などをお見せします。ゴビ砂漠での発掘のことなどいろいろ質問してみてください。対象どなたでも \無料(ただし特別展への入場料が必要(大人1100円、高大生600円)) 問合せ地史研究室の塚腰まで

31	土	ジオラボ「鹿沼土のひみつ」	PM2:30～3:30 自然史博物館ミュージアムサービスセンター	植木鉢の中に入っている、黄色い粒、「鹿沼土」の正体は、火山から飛んできた「軽石」です。簡単な実験と、顕微鏡観察で、そのひみつを探ってみましょう。 対象 どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) ¥無料 (ただし博物館入館料が必要) 問合せ 第四紀研究室の石井陽子まで
----	---	---------------	----------------------------------	--



6月

日	曜	催し名	時刻・場所	内容・対象・定員・費用・問合せなど(\\は費用)
1	日	テーマ別自然観察会「ソウシチョウがいる山の鳥」 ★要申込 5月17日(土)締切	AM10:00～PM3:00頃 六甲山周辺	ソウシチョウは外国から飼い鳥として持ち込まれ、現在、日本各地で増えています。ソウシチョウが増えた山はどんな風になっているのでしょうか? ソウシチョウを観察して、その影響を考えてみましょう。 対象 小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) ¥ 中学生以上100円、小学生50円(自然史博物館友の会会員は無料) 定員 30名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ 動物研究室の和田まで
		恐竜ラボ・プレパレーターにきいちゃおう	AM10:00～12:00, PM1:00～2:00, 3:00～4:00 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	林原自然科学博物館のプレパレーターが特別会場内に登場して、プレパレーターの仕事のようすや道具などをお見せします。ゴビ砂漠での発掘のことなどいろいろ質問してみてください。 対象 どなたでも \\無料(ただし特別展への入場料が必要(大人1100円、高校生600円)) 問合せ 地史研究室の塚腰まで
2	月	休館日		
7	土	自然史オープンセミナー・展示室で学ぶ生き物のくらしシリーズ2「生きもの同士の様々な関係」	PM3:00～4:30 自然史博物館集会室	競争、共生、寄生、捕食。生きもの同士の関係といえ、こんな言葉が思い浮びます。しかし、実際の生きものは、もっと複雑に関わり合っています。シリーズ第2回目は、ややこしく楽しい生きもの同士の関係をみてみましょう。 対象 どなたでも \\無料(ただし博物館入館料が必要) 講師 和田 岳(動物研究室)
		ピオトープの日(6月) ★要申込 5月28日(水)締切 友の会会員は申込み不要	AM10:00～12:00 小雨 決行 集合 自然史博物館実習室(博物館通入口からお入り下さい)	博物館ではバックヤードを利用して、ピオトープの手入れをしながら、どんな生き物が集まってくるのか継続的に調査をしています。6月は田うえや生き物調べを行います。 対象 どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) \\無料 持ち物・服装 飲みもの、タオル、汚れてもよい服装 問合せ 昆虫研究室の松本まで
		恐竜ラボ・子どもワークショップ「ながめて・作って・レプリカ体験」 ★要申込 5月20日(火)締切	AM10:30～、PM2:00～(1回約100分) 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	化石の研究ってどんなことをするんだろう? 研究者になった気分化石をじっくりながめてみよう。レプリカ作りにもちようせんすよ! 対象 小学生以上 定員 1回15名(定員を超えた場合は抽選) ¥ 200円(材料費;なお、高校生以上の方がつきそいで参加の場合は、 特別展への入場料が必要 です(大人1100円、高校生600円))
8	日	恐竜ラボ・子どもワークショップ「ながめて・作って・レプリカ体験」 ★要申込 5月20日(火)締切	同上	同上
		活断層を歩くシリーズ4「中央構造線」 ★要申込 5月22日(木)締切	終日 和歌山県岩出市 雨天中止	シリーズ4回目は和泉山脈の南側山麓にそって伸びる中央構造線活断層系の一つ、根来断層をたずねます。根来寺の周辺を歩きながら、中央構造線の断層露頭や、活断層がつくる地形と周辺の地質を観察します。 対象 小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) ¥ 中学生以上100円、小学生50円(自然史博物館友の会会員は無料) 定員 30名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ 地史研究室の川端まで
		ジュニア自然史クラブ「磯観察」 ★要申込 5月24日(土)締切	AM10:00～PM4時頃 和歌山市	ジュニア自然史クラブは、生物や地学関係が好きな中高生のグループです。毎月、いろんな活動をしています。6月の活動は海岸生物や地層を観察したりします。 対象 中学生と高校生(12～18歳) その他 一度応募すれば、2008年度中はその後の行事の案内も送られます。 問合せ 昆虫研究室の松本まで
		テーマ別自然観察会「京都の植生観察4- 八丁平」 ★要申込 5月25日(日)締切	終日 京都市左京区、大津市、八丁平方面 雨天中止	京都北山の八丁平は近畿地方では数少ない高層湿原で、周囲にはミズナラを主体とする林が広がっています。湿原と周囲にみられる落葉樹林の植物の花を観察する予定です。歩く距離は約6kmですが、一部に急な登り降りがあります。 対象 中学生以上 ¥ 100円(自然史博物館友の会会員は無料) 定員 25名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ 植物研究室の内貴まで
9	月	休館日		
14	土	ジオラボ「水槽の中に地層を作る」	PM2:30～3:30 自然史博物館 ナウマンホール	海面の変動は、地層や地形の形成に大きく影響します。実験水槽を使って、ミニチュアの陸と海を作り、海面の変動によって地層がどのようにできていくかを観察します。 対象 どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) ¥無料 (ただし博物館入館料が必要) 問合せ 第四紀研究室の中条まで

16	月	休館日		
21	土	地域自然誌シリーズ「長居」	PM3:00～6:00 集合 長居植物園中央ゲート前 解散 JR長居駅(予定) 雨天中止	ちょっと昔の長居ってどんな街だったのでしょうか。今の長居にはどんな自然が残っているでしょう。ふだん街を歩く視点が少し変わってくるかも知れません。 対象 どなたでも ¥ 中学生以上100円、小学生50円(自然史博物館友の会会員は無料) 持ち物・服装 虫除け、日射病対策の帽子、飲み物など、持っていればルーペなど観察用具 その他 当日天候があやしい時は、午前10時以降に06-6694-0500(留守番電話)で確認してください 問合せ 植物研究室の佐久間まで
		恐竜ラボ・子どもワークショップ「ながめて・作って・レプリカ体験」 ★要申込 5月20日(火)締切	AM10:30～、PM2:00～ (1回約100分) 自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2F)	化石の研究ってどんなことをするんだろう? 研究者になった気分では化石をじっくりながめてみよう。レプリカ作りにもちょうせんするよ! 対象 小学生以上 定員 1回15名(定員を超えた場合は抽選) ¥ 200円(材料費;なお、高校生以上の方がつきそいで参加の場合は、 特別展への入場料が必要です(大人1100円、高大生600円))
22	日	恐竜ラボ・子どもワークショップ「ながめて・作って・レプリカ体験」 ★要申込 5月20日(火)締切	同上	同上
		地域自然誌シリーズ・淀川を歩こう2「枚方大橋～豊里大橋」 ★要申込 6月9日(月)締切	終日 枚方大橋(枚方市)から豊里大橋(大阪市旭区)まで 雨天中止	第2回目は枚方大橋から豊里大橋までの左岸(南岸)を歩きます(全行程12km)。淀川では残り少なくなったワンド、庭窪ワンドや八雲ワンドを観察しながら歩きます。植物、鳥類、魚類、昆虫、地学担当学芸員が案内します。 対象 小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) ¥ 中学生以上100円、小学生50円(自然史博物館友の会会員は無料) 定員 30名(定員を超えた場合は抽選) 問合せ 第四紀研究室の中条まで
23	月	休館日		
28	土	長居植物園案内・スペシャル編「街の生きもの観察」	PM1:00～4:00 長居植物園 小雨決行	街の中に緑の島のように広がる長居植物園。街のなかで、どんな自然が見つかるでしょう?毎月行っている長居植物園案内と、その動物、昆虫編のスペシャル版として、学芸員が気軽に自然観察の世界へお誘いします。 対象 どなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要) ¥ 無料(ただし植物園入園料が必要) 持ち物・服装 帽子、虫除けスプレー、ルーペ、メモ、双眼鏡(鳥を見たい人)など 問合せ 植物研究室の佐久間まで
30	月	休館日		

【博物館行事の申込み方法について】

往復はがき又は電子メールでお申込ください。往復はがきの場合のあて先は、〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史博物館普及係あて。電子メールの場合のアドレスは(gyouji@mus-nh.city.osaka.jp)。自然史博物館ホームページ(<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>)からも行事の申込みができます。申込み行事名を表題につけて、行事名、参加希望者全員の氏名、年齢(学年)、住所、電話番号、および返信用宛名を書いて、1行事につき1通ずつお送りください。記入事項が不十分なときは受付できないことがあります。

抽選結果や参加方法などの詳細は返信でお知らせします。返信は締切日からおむね1週間以内に発送しますが、遅い場合はTEL:06-6697-6221またはgyouji@mus-nh.city.osaka.jpまでお問合せください。また、団体での申込みはお断りしますが、学校のクラブでの参加を希望される場合はご相談ください。

【行事の実施について】

大阪市立自然史博物館では、安全に配慮しつつ、利用者の声を反映した行事を実施していきたいと考えています。そのため、野外観察会や野外実習・室内実習などの行事を、平成19年4月より、NPO法人大阪自然史センターとの共催で提供しています。

月例のビオトープの日は、平成20年度は独立行政法人科学技術振興機構の地域科学技術理解増進活動推進事業の支援により実施しています。また、ジオラボは「子ども夢基金」の支援を受けて実施しています。

大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23(長居公園内) TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225

開館時間:午前9時30分～午後5時(11月～2月は、午後4時30分)※入館は閉館の30分前まで

休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)年末年始(12月28日～1月4日)

入館料:大人300円、高校大学生200円(30名以上は団体割引あり)。ただし特別展は別料金。

中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方は証明書(ソルのマークの健康手帳又は大阪府発行の敬老優待乗車証)を提示されると無料になります。

ホームページ:<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>